



2018年1月期 第1四半期 決算説明資料

ベストセラ株式会社
証券コード: 1433

決算のポイント

売上高

843百万円
(前年比5.9%減)

- 工事は当初計画に沿って順調に進捗していますが、当第1四半期に完成する工事が前年に比べて減少しました。そのため、実際には工事は当初計画通り進捗しているものの、対前年52百万円減となっております。
- 前期から繰り越された完成基準適用工事は、第2四半期に完成、収益計上の見込みです。

受注残高

1,853百万円
(前年比38.5%減)

- 受注残高は、第1四半期の工事完成により前年同期比38.5%減となっております。
- 当第1四半期末以降発表日現在(2017年6月9日)において、大型工事(12億4千万円)を受注しておりますが、当第1四半期の受注工事高、期末繰越工事高には算入されていないため、一時的な減少となっております。

通期業績予想

- 通期業績は当初計画通りに進捗しているため、業績予想に変更はありません。

損益計算書: 第1四半期(2018年1月期)

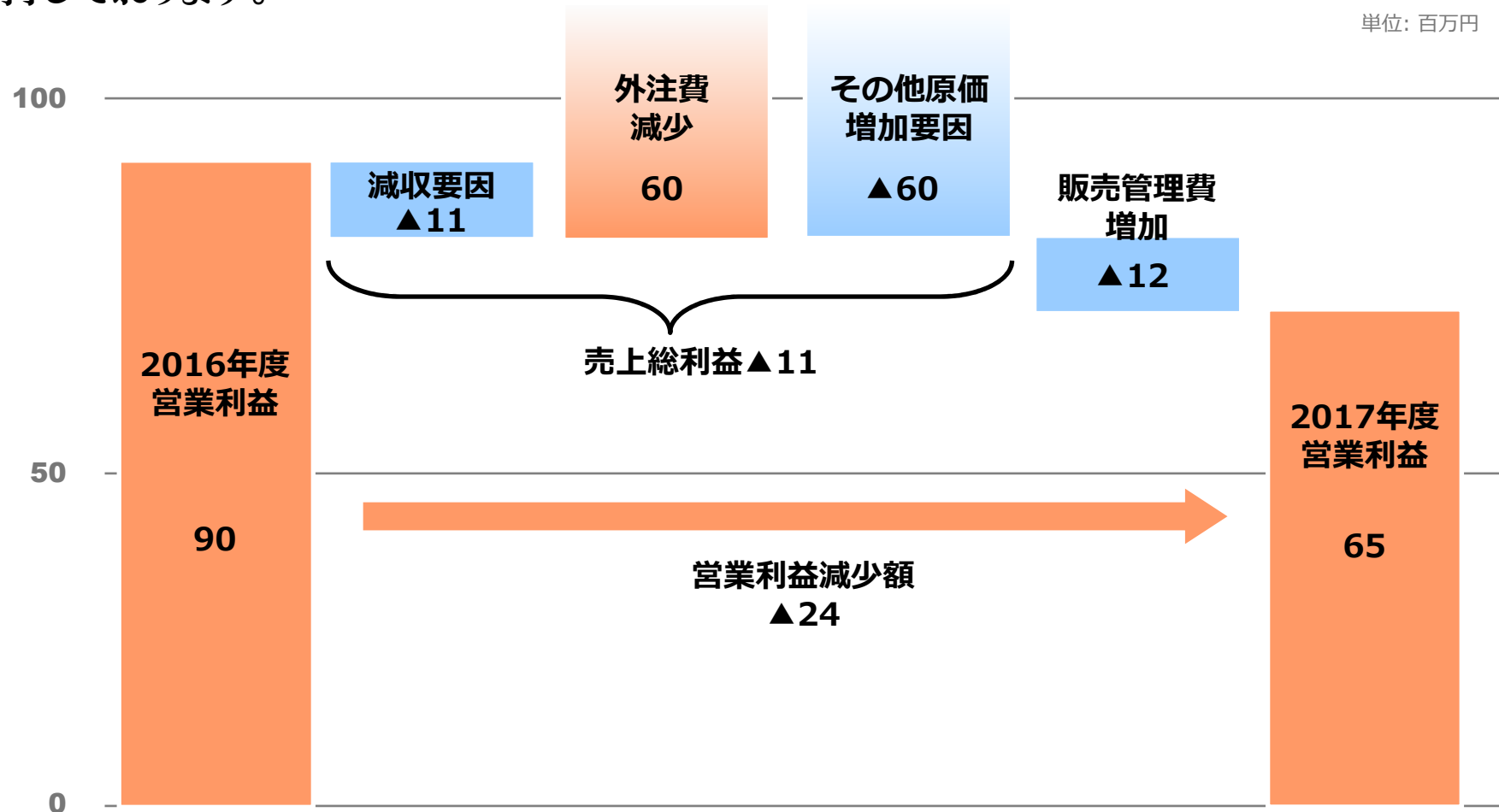
売上高、利益ともに、計画通り順調に進捗しております。前期から繰り越された完成基準工事は、予定通り第2四半期会計期間に計上の見込みです。

単位: 百万円

	2018年1月期 第1四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	843	—	895	▲52	▲5.9%
売上総利益	188	22.4%	200	▲11	▲5.9%
販売費及び 一般管理費	123	14.6%	110	12	11.3%
営業利益	65	7.8%	90	▲24	▲27.0%
経常利益	67	8.0%	91	▲24	▲26.7%
当期純利益	43	5.2%	59	▲15	▲26.3%

営業利益の増減要因分析：第1四半期 (2018年1月期)

当第1四半期に完成する工事が前年に比べて減少したため、実際には工事は当初計画通り進捗しているものの、対前年で減少しております。原価率は昨年度の水準を維持しております。



販売費及び一般管理費：第1四半期(2018年1月期)

人材採用、広告宣伝に係る先行投資を進めております。また、京都大学、山口大学等と共同でロボット開発を引き続き進めております。

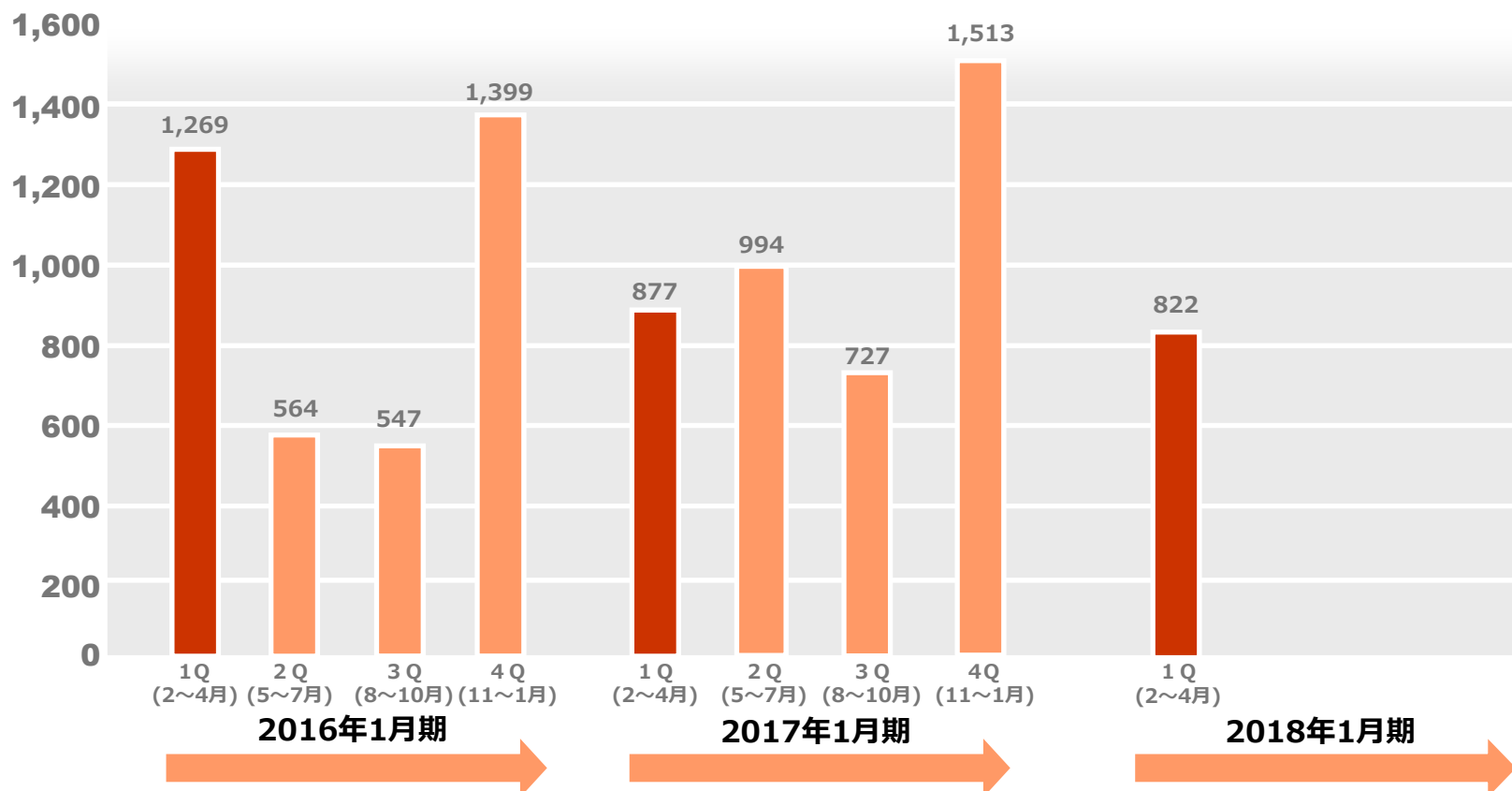
単位：百万円

	2018年1月期 第1四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	53	52	0	0.9%	事業拡大のための人員増
研究開発費	4	—	4	—	ロボット開発費用
支払手数料 支払報酬	22	14	8	55.8%	営業協力費用
採用費	5	3	2	89.4%	採用広告費用
広告宣伝費	1	7	▲5	▲76.5%	展示会の実施時期変更
その他	34	32	2	6.4%	
合計	123	110	12	11.3%	

完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。工事進行基準を適用した大型工事が増えているため、平準化の傾向にあります。

単位: 百万円

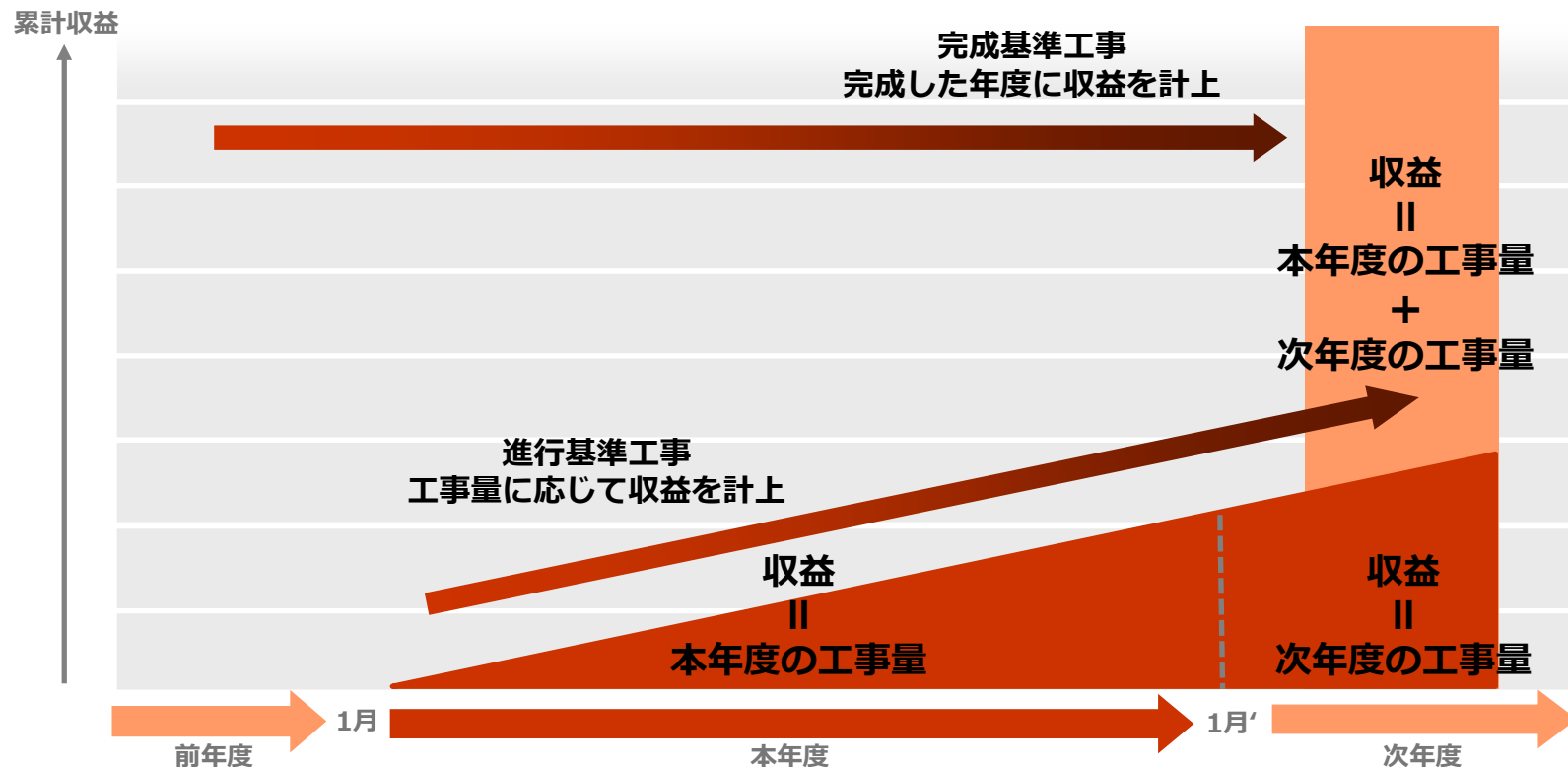


※今期は、第2四半期および第4四半期会計期間に計上される割合が比較的高くなる見込みです。

工事の収益計上基準について

- 2つの収益計上基準
- 進行基準: 工事の進捗に応じて収益を計上する
 - 完成基準: 工事が完成した時に収益を計上する

進行基準工事の場合、工事量に応じて収益を計上できますが、完成基準を適用している大型工事が来期完成となった場合、工事を行っていても収益を計上できません。



※今期より、スクラップが発生する大型工事も、原則、工事進行基準となりました。

貸借対照表：第1四半期(2018年1月期)

大型の進行基準工事の進捗に伴い、売上債権が増加しております。経常運転資金確保のため、借入金が増加しております。

単位：百万円

	2018年1月期 第1四半期	前事業年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	3,743	3,812	▲69	債権の回収および未完成工事の増加によるもの
(うち現金預金)	(739)	(702)	(37)	
固定資産	402	409	▲7	3D計測機器の減価償却によるもの
流動負債	1,958	1,997	▲39	社債の償還によるもの
固定負債	42	41	0	—
純資産	2,145	2,183	▲37	利益の積立および配当支払によるもの
総資産	4,145	4,222	▲76	

受注状況：第1四半期(2018年1月期)

当第1四半期末以降発表日現在(2017年6月9日)において、大型工事(12億4千万円)を受注しておりますが、当第1四半期の受注工事高、期末繰越工事高には算入されていないため、一時的な減少となっております。

	2018年1月期 第1四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	2,303	3,362	▲1,058	▲31.5%
受注工事高	372	531	▲158	▲29.9%
完成工事高	822	877	▲54	▲6.3%
期末繰越工事高 (受注残高)	1,853	3,016	▲1,162	▲38.5%

単位: 百万円

通期業績予想 (2018年1月期)

今期(2018年1月期)の業績予想は前期から繰り越された工事の収益が計上されるため、売上高36.3%増、当期純利益32.8%増を見込んでおります。

単位: 百万円

	業績予想 2018年1月期	実績 2017年1月期	増加率
売上高	5,700	4,182	36.3%
営業利益	564	397	41.9%
経常利益	533	404	31.8%
当期純利益	360	271	32.8%
1株当たり 当期純利益	43円	32円	—

※ 1株当たり当期純利益 (EPS) は、2017年3月17日現在の発行株式数 (8,305,200株) を基準に計算しております。

資本政策について

当第1四半期に、以下の取り組みを実施いたしました。
市場変更への準備に関しましては、順次進めてまいります。

株式分割

2017年1月31日を基準日として普通株式1株につき3株の株式分割を行いました。これにより、2017年2月1日以降の発行済み株式総数は8,305,200株となりました。

立会外分売

2017年4月6日に、100,000株の立会外分売を行いました。
今回の立会外分売は、東京証券取引所市場第一部への市場変更の形式要件の充足を図るとともに、当社株式の分布状況の改善および流動性向上を図るために行うものであります。

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベステラ株式会社



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

